

令和3年度	橋梁補修	工事
工事番号	平 土 第	号
路 線 名	碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線	
施 行 所	平川市 碓ヶ関古懸 地内	
古 館 橋	縮 尺	図 示
現 橋 一 般 図		
図面番号	業 中	
平 川 市		
青 森 県		

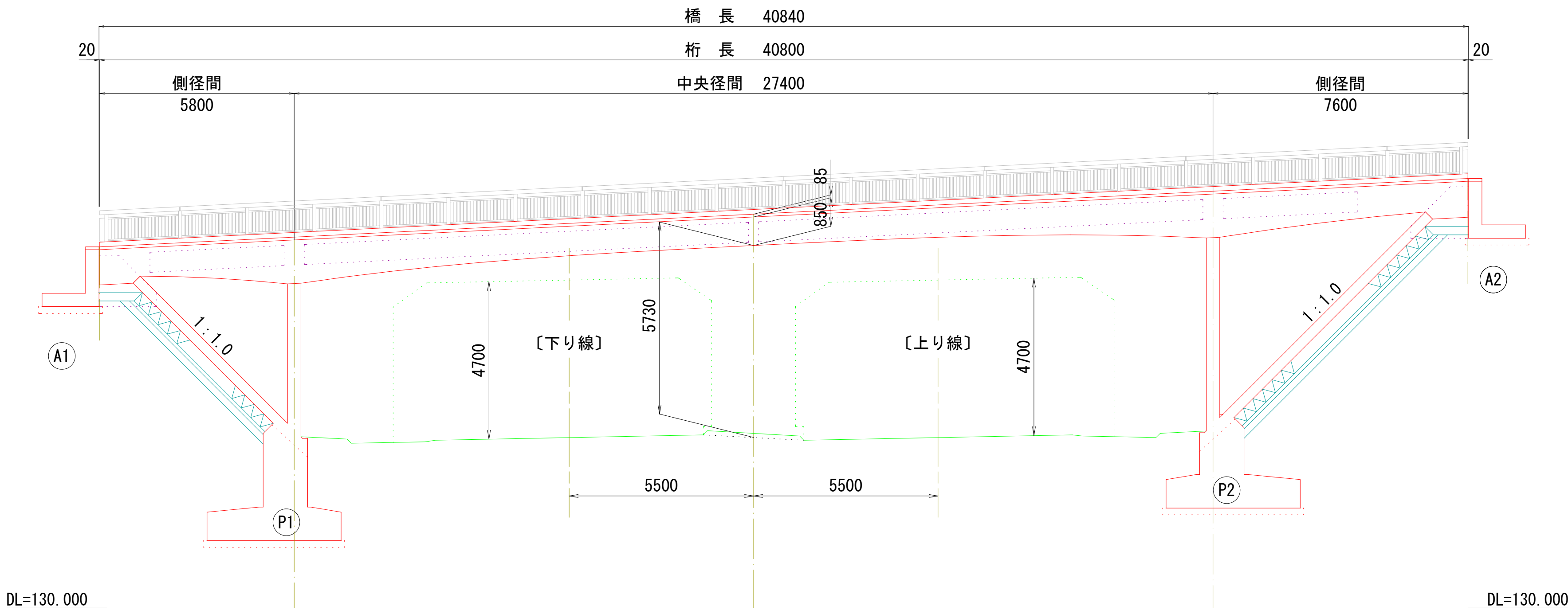
210510402_古館橋

1
8

古館橋 現 橋 一 般 図

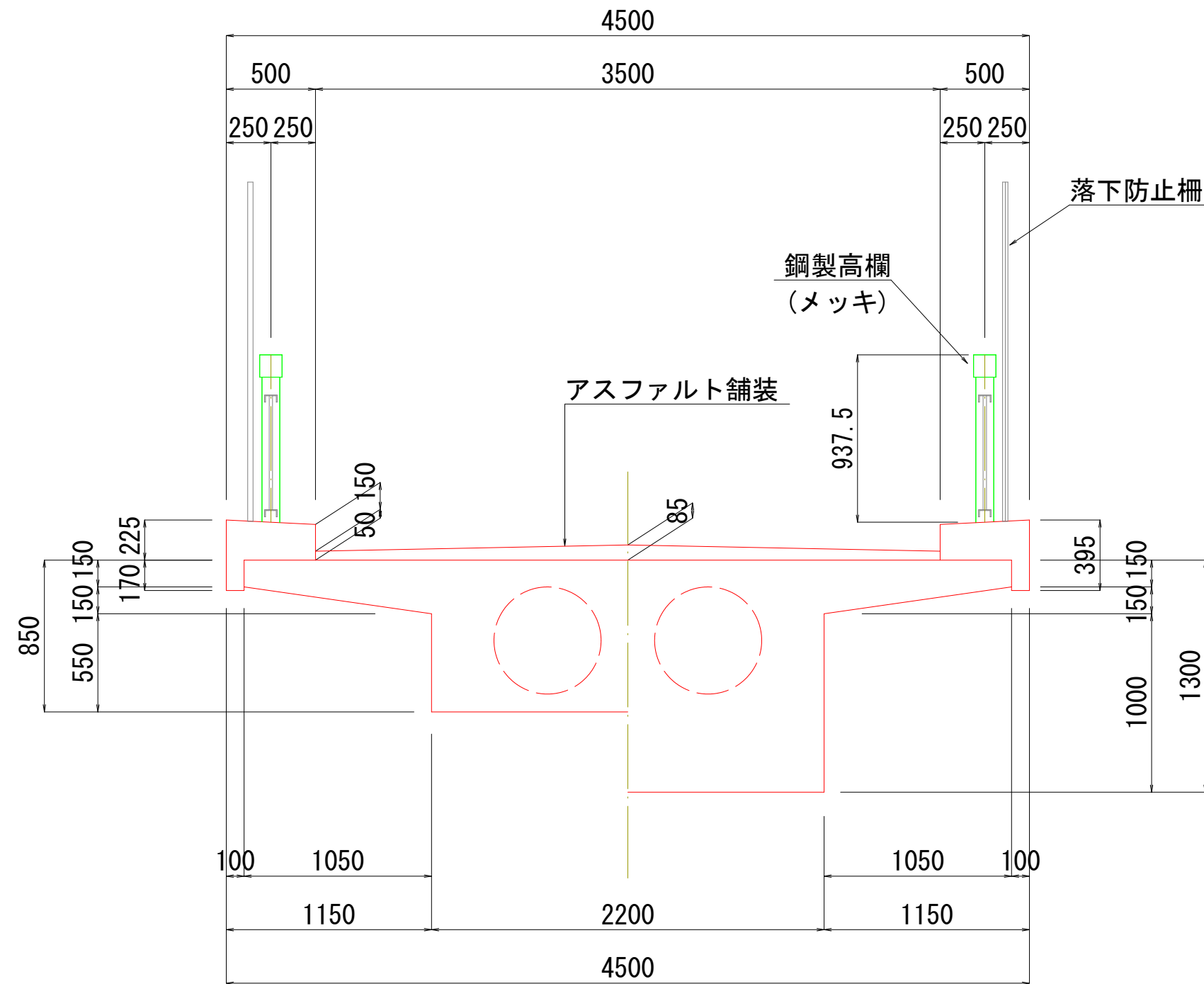
側 面 図

S=1/100



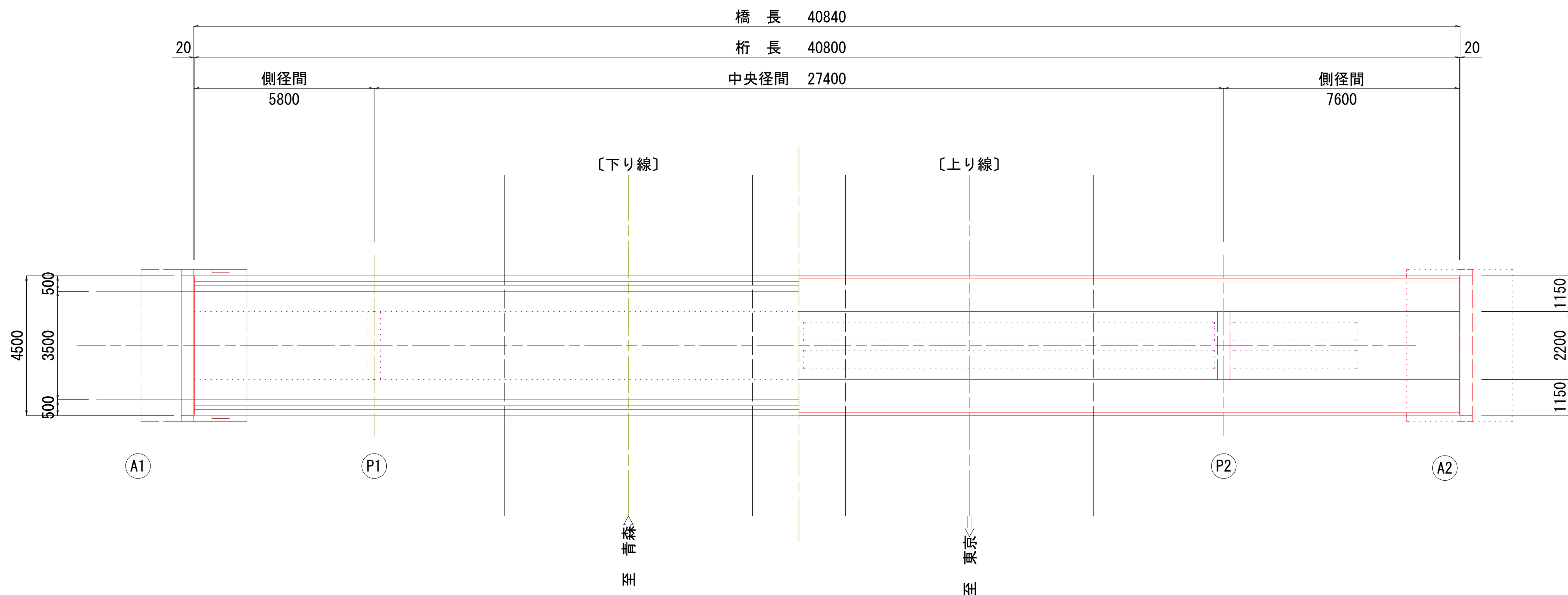
断 面 図

S=1/30



平 面 図

S=1/100



橋 梁 諸 元	
路 線 名	碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線
架橋条件	東北縦貫道 (管理者: NEXCO東日本)
竣工年月	昭和54年12月 (1979) --- 約37年経過
橋 長	BL=40.840m—3径間
桁 長	GL=5.800m+27.400m+7.600m=40.800m
有効幅員	車道=3.500m
全 幅	車道3.500m+地覆0.500m×2=4.500m
斜 角	$\theta=90^\circ$
橋 格	TL-14tf (雪荷重100kg/m ²)
上部工形式	PC斜材付π型ラーメン
橋面舗装	アスファルト舗装 t=50~85mm
防 護 柵	高欄+落下物防止柵
伸縮装置	ゴムジョイント (カットオフジョイント)
支 承	メナーゼヒンジ・ゴム沓
下部工形式	逆T式橋台・小橋台
コンクリート	$\sigma_{ck}=350\text{kg/cm}^2$ (主構・斜材・垂直材・基礎頭部) $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$ (地覆・基礎・小橋台)
添 架 物	---

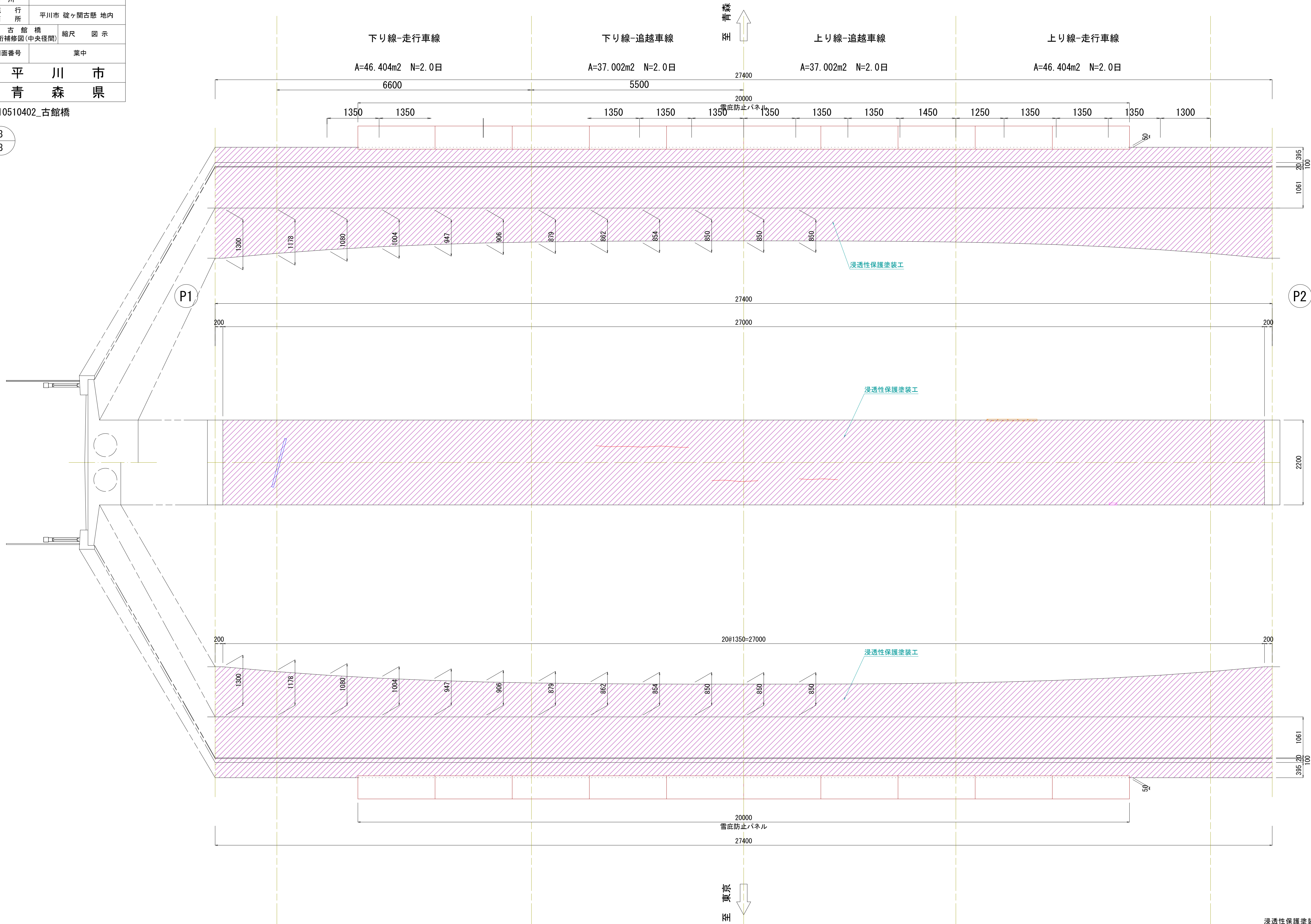
令和3年度		橋梁補修		工事	
工事番号		平 土 第 号			
路 線 名		碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線			
施 行 所		平川市 碓ヶ関古懸 地内			
古 館 橋		縮 尺		図 示	
主桁補修図(中央径間)					
図面番号		葉 中			
平		川		市	
青		森		県	

210510402_古館橋

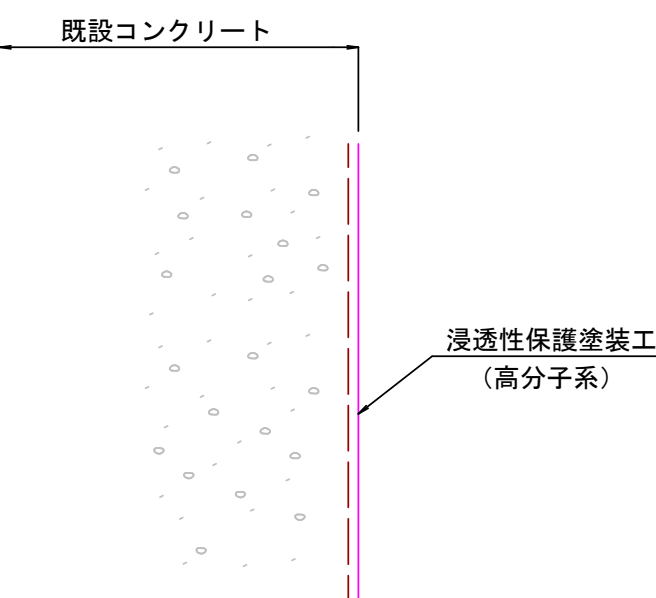
3
8

古館橋 主桁補修図〔中央径間〕

S=1/50



浸透性保護塗装工詳細図



浸透性保護塗装工〔留意事項〕

1. 既存コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
3. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて含浸させる。
4. 作業完了後に降雨にさらされないよう天候に配慮する。（中央径間部）
5. 図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

令和3年度	橋梁補修	工事
工事番号	平 土 第	号
路 線 名	碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線	
施 行 所	平川市 碓ヶ関古懸 地内	
古 館 橋 主桁補修図(側径間)	縮 尺	図 示
図面番号	業 中	
平 川 市	青 森 県	

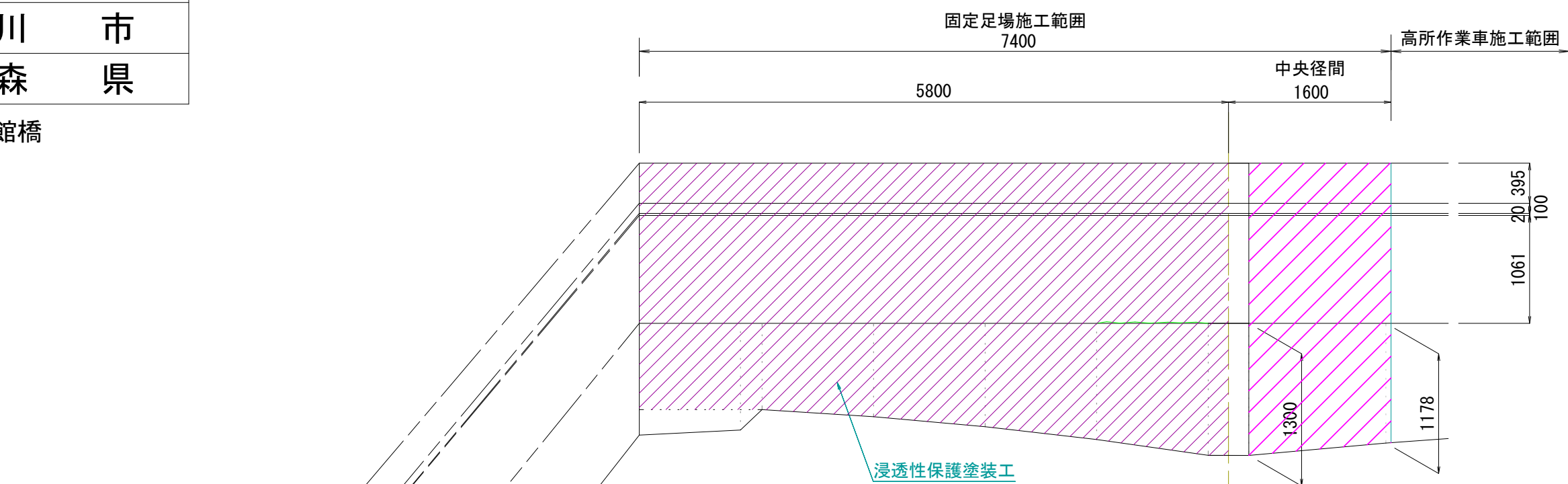
210510402_古館橋

4
8

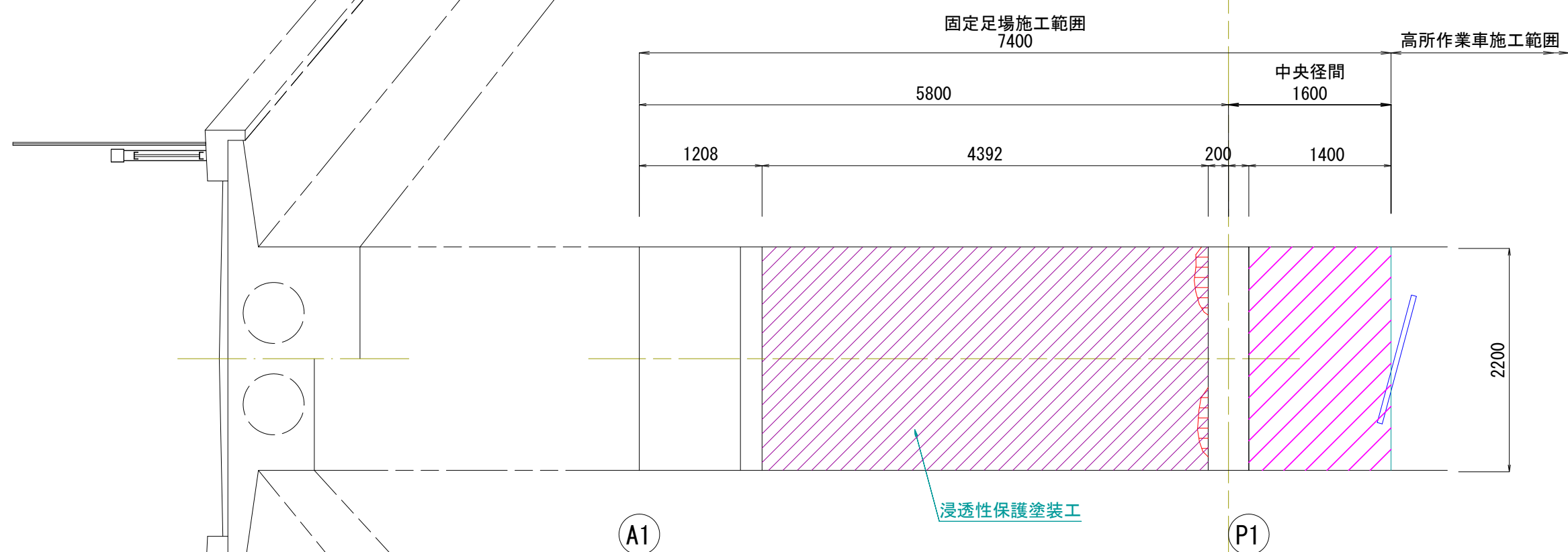
古館橋 主桁補修図〔側径間〕

S=1/50

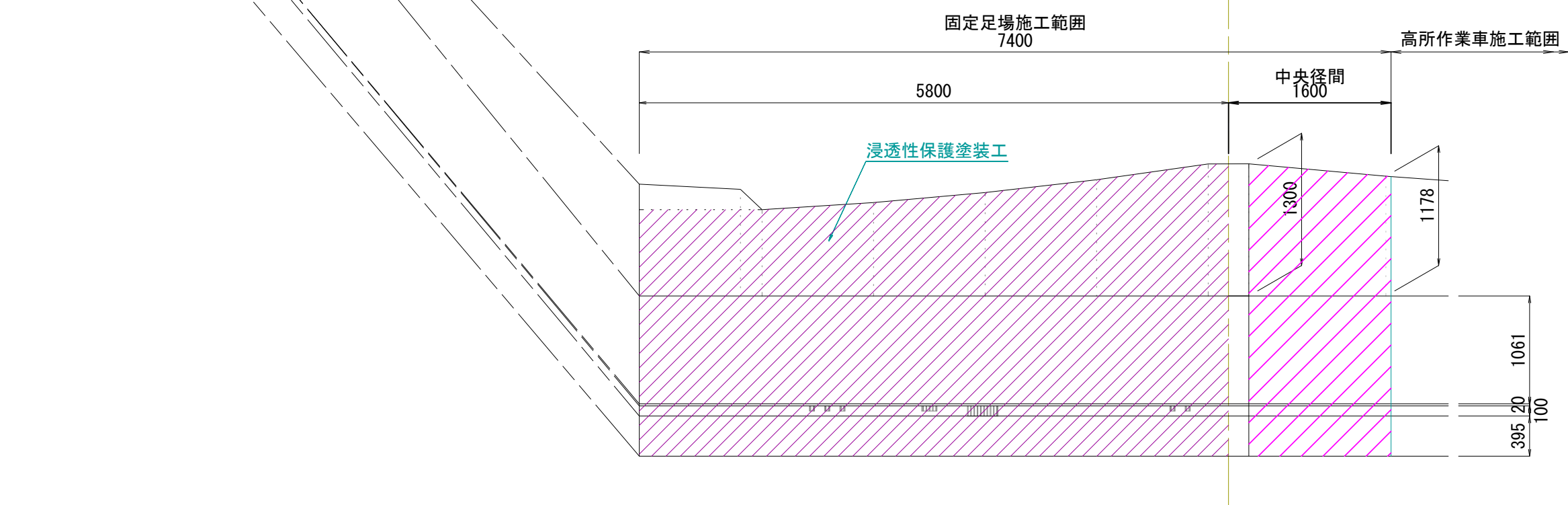
左側径間 側面展開図(青森側)



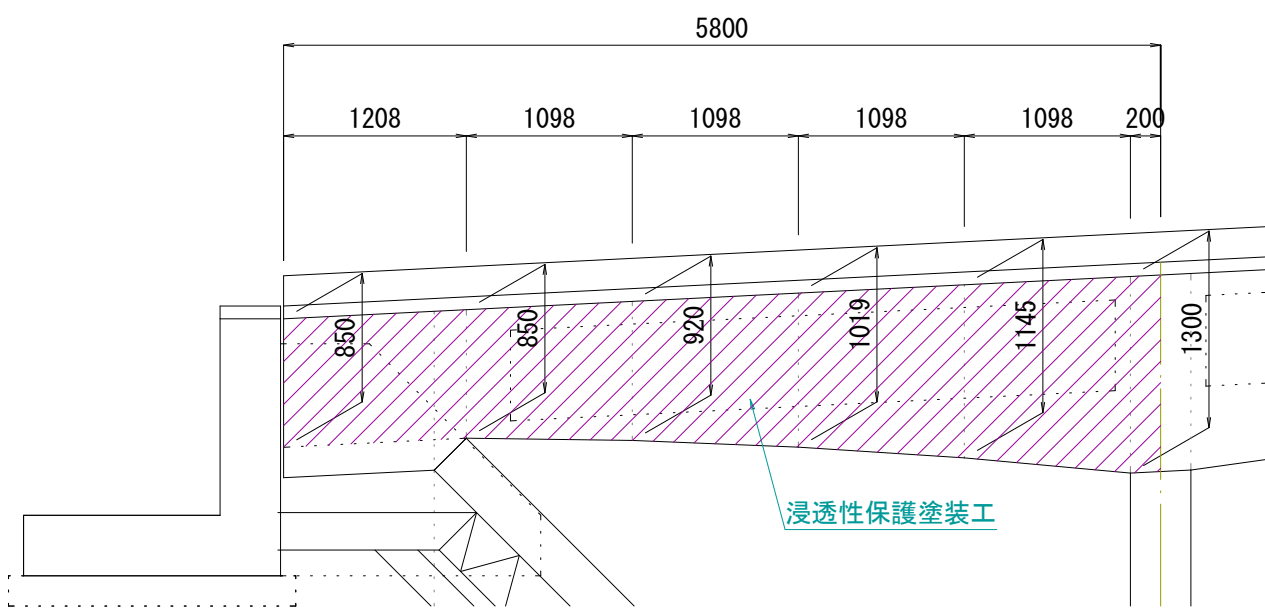
左側径間 下面展開図(P1側)



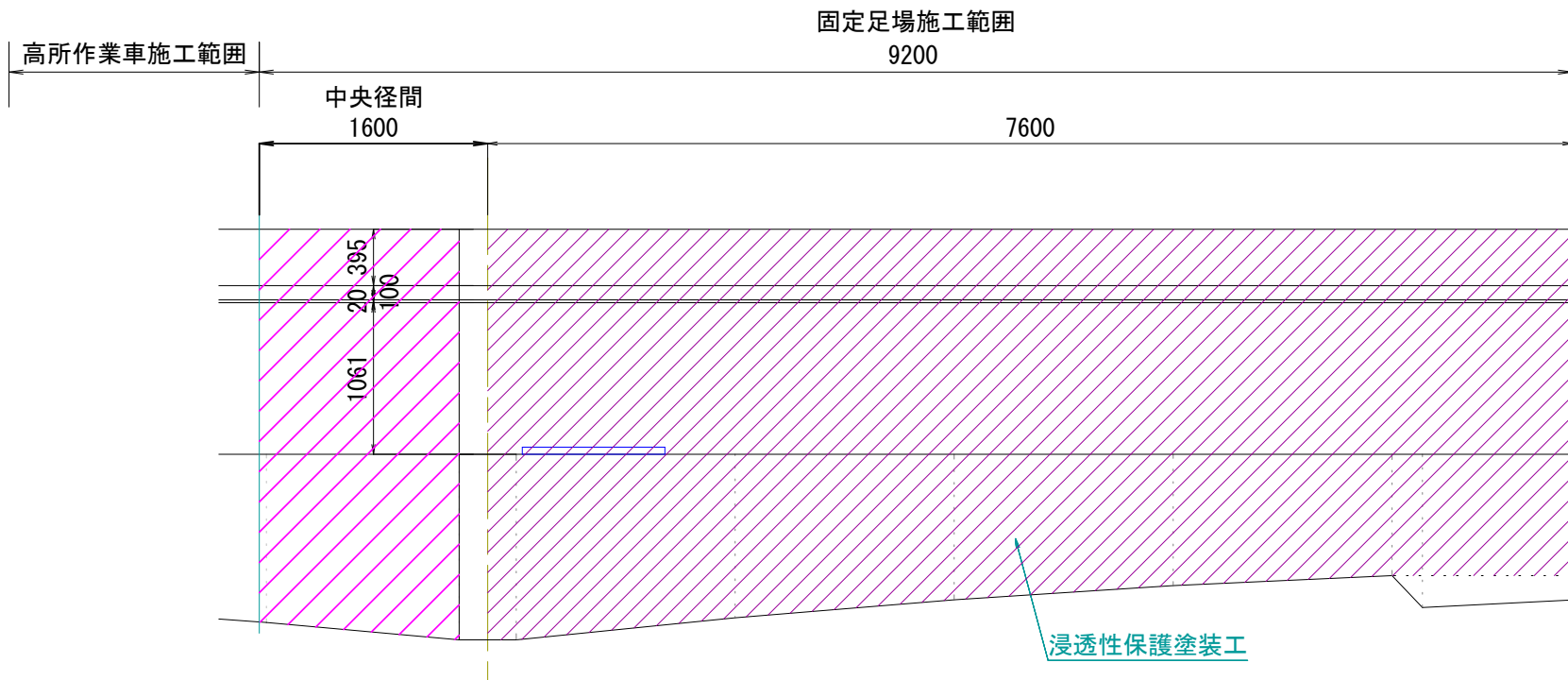
左側径間 側面展開図(東京側)



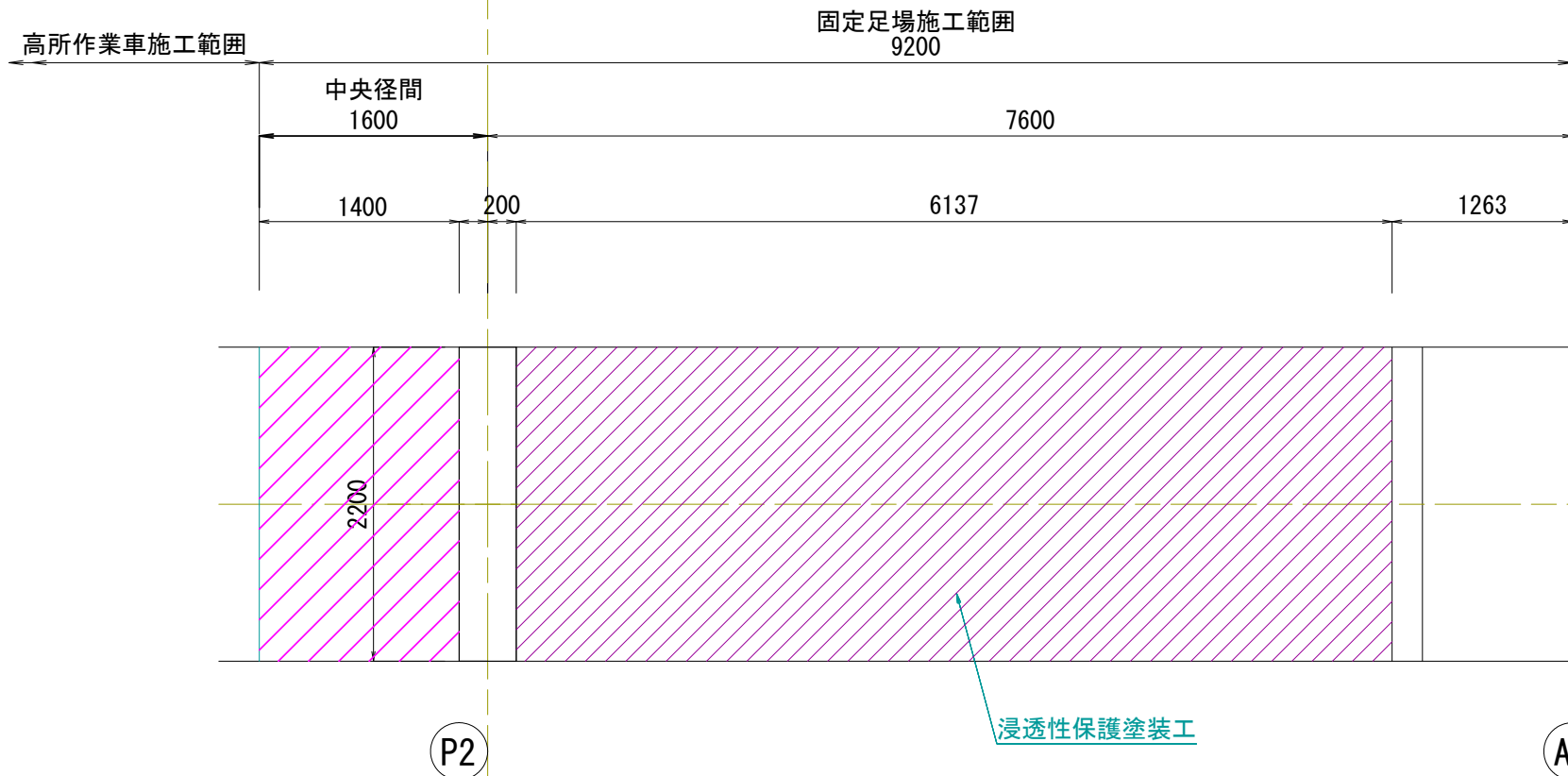
左側径間 桁高寸法図



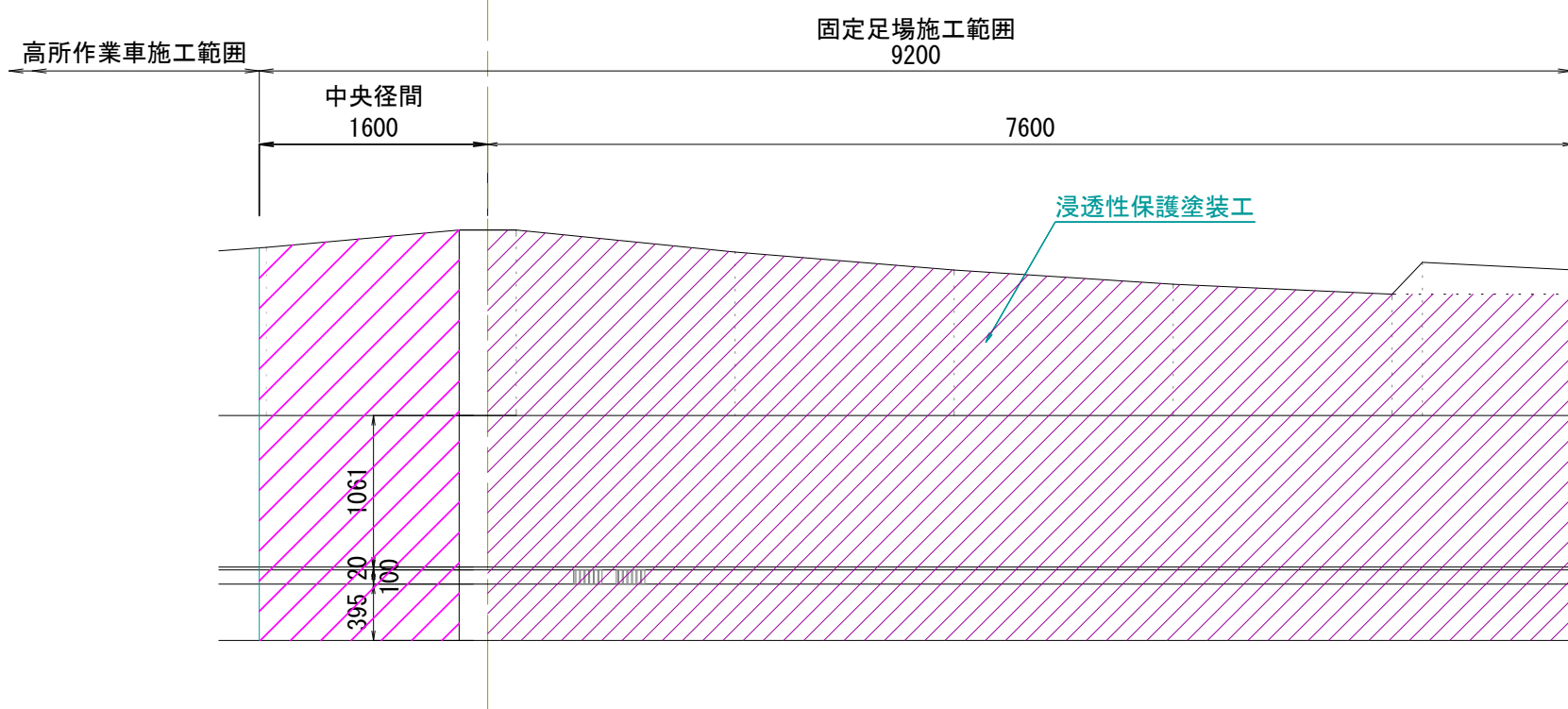
右側径間 側面展開図(青森側)



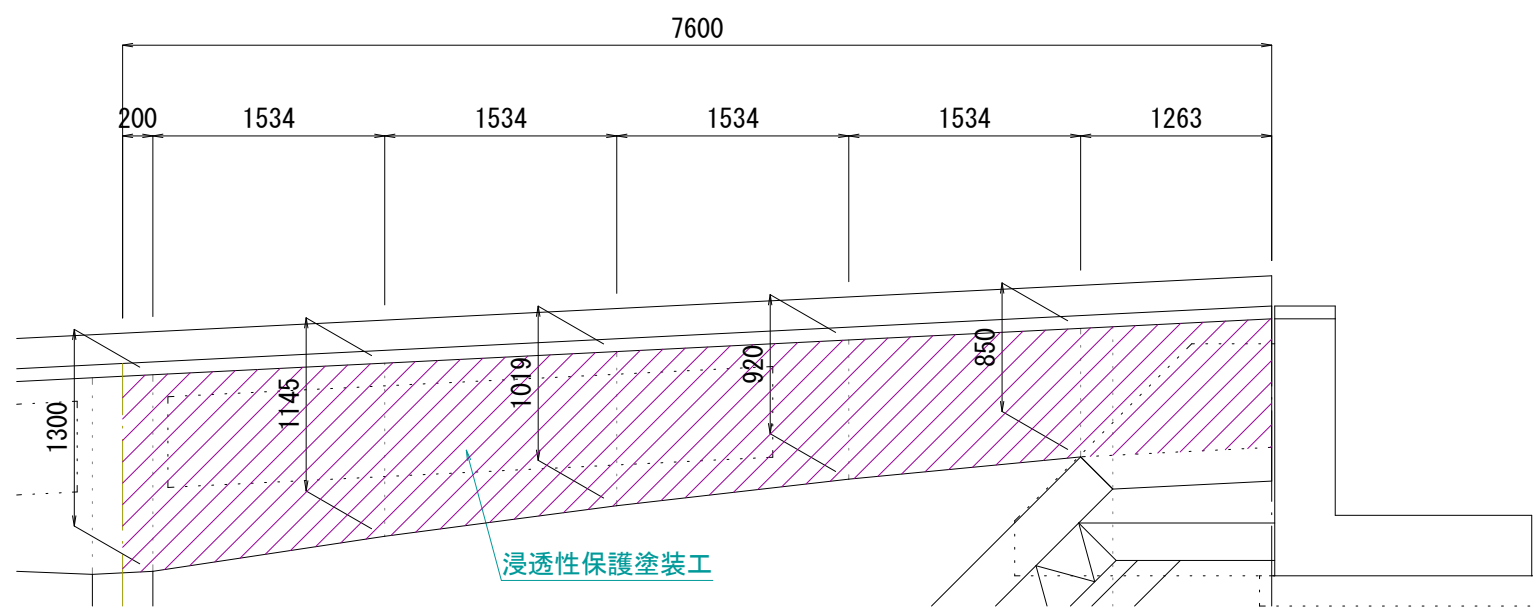
右側径間 下面展開図(P2側)



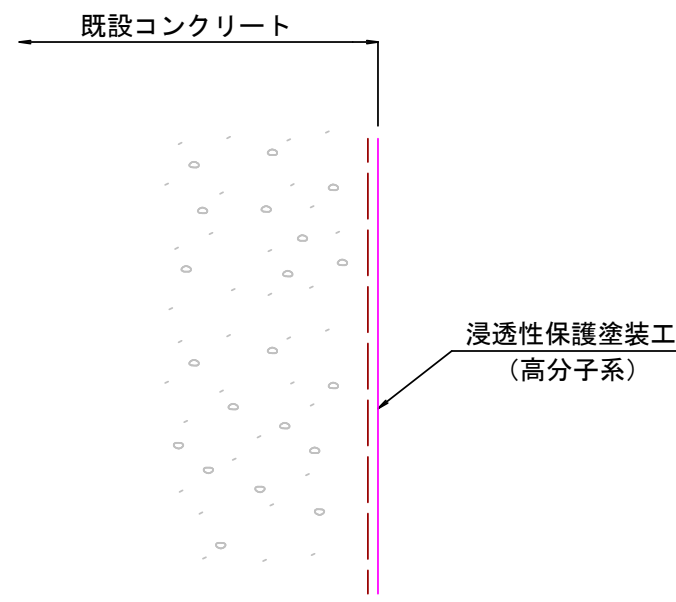
右側径間 側面展開図(東京側)



右側径間 桁高寸法図



浸透性保護塗装工詳細図



浸透性保護塗装工〔留意事項〕

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
3. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて含浸させる。
4. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。
5. 図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

令和3年度	橋梁補修	工事
工事番号	平 土 第	号
路 線 名	碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線	
施 行 所	平川市 碓ヶ関古懸 地内	
古 館 橋	縮 尺	図 示
P1橋脚補修図		
図面番号	業 中	
平 川 市		
青 森 県		

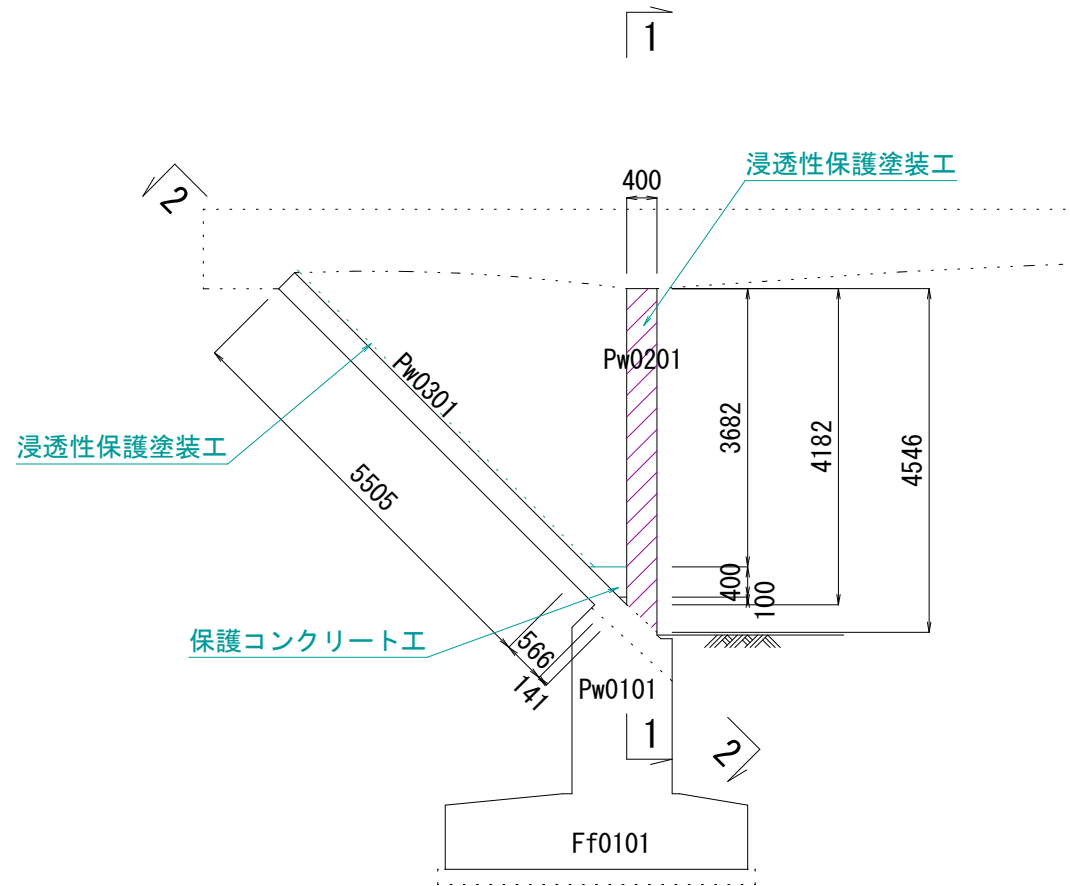
210510402_古館橋

5
8

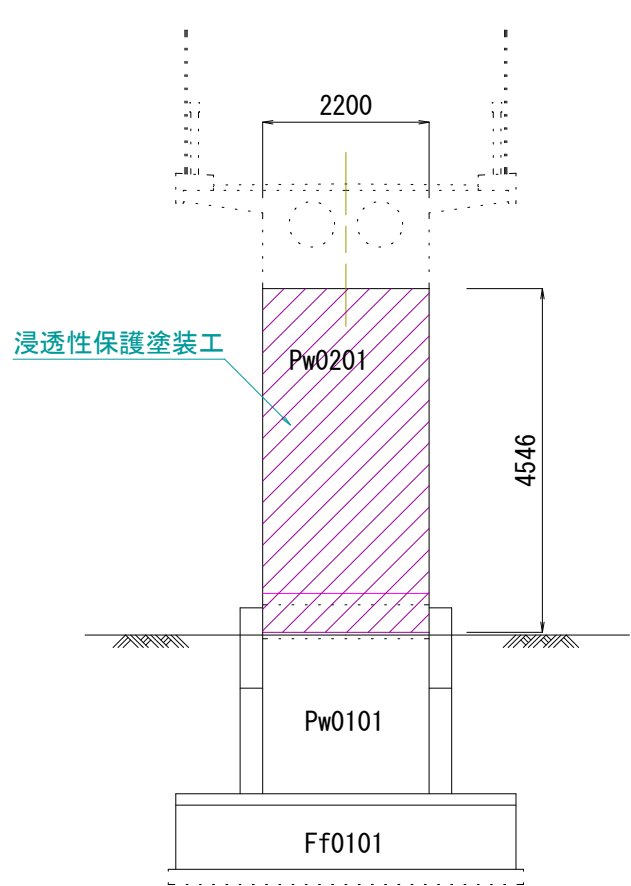
古館橋 P1橋脚補修図

S=1/100

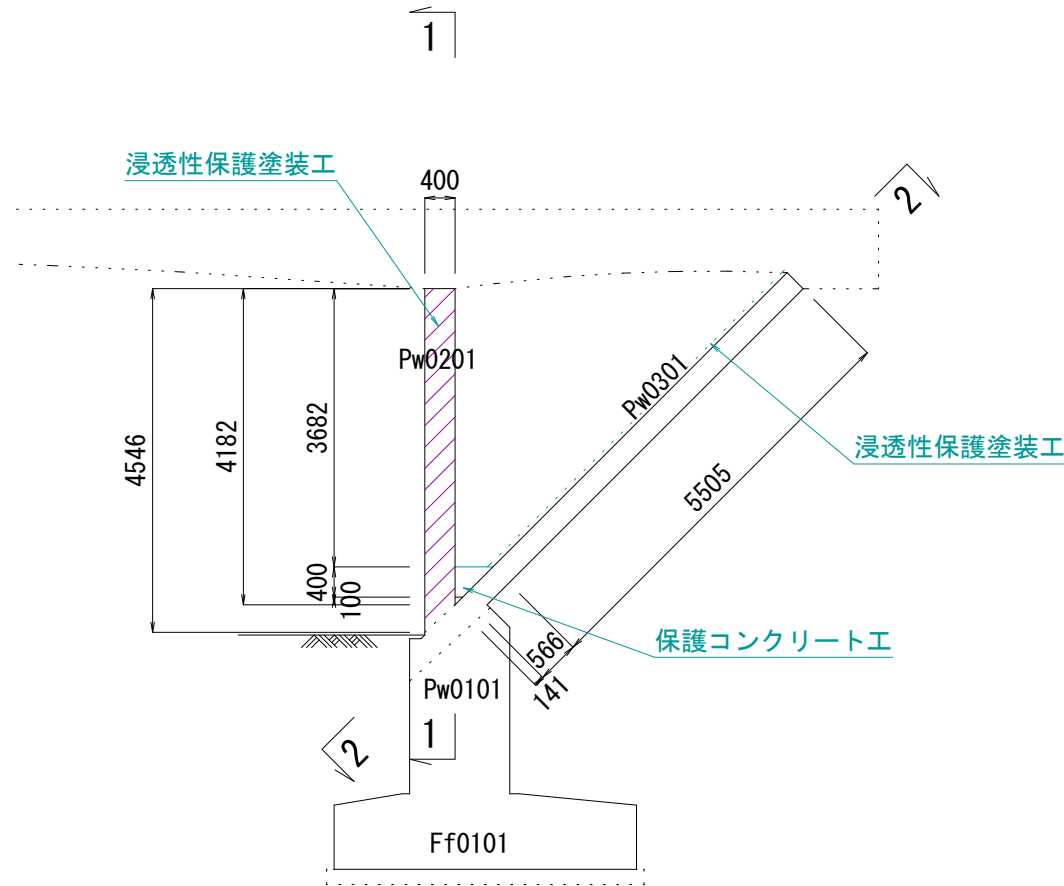
東京側側面図



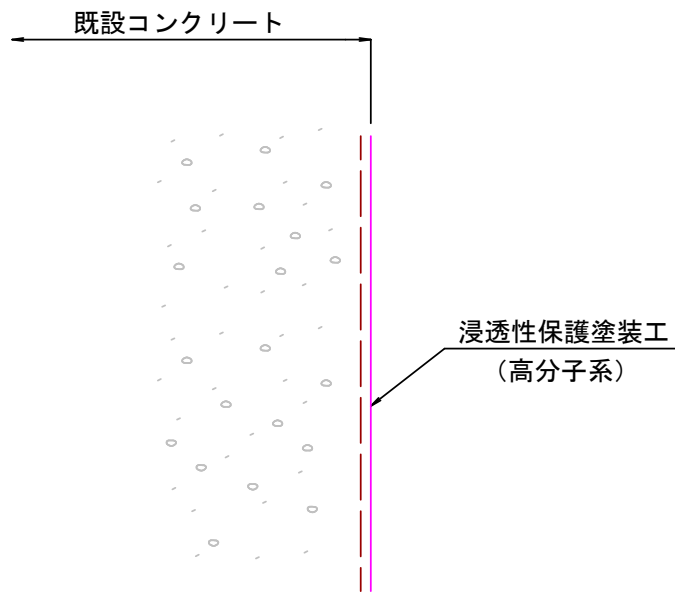
正面図



青森側側面図



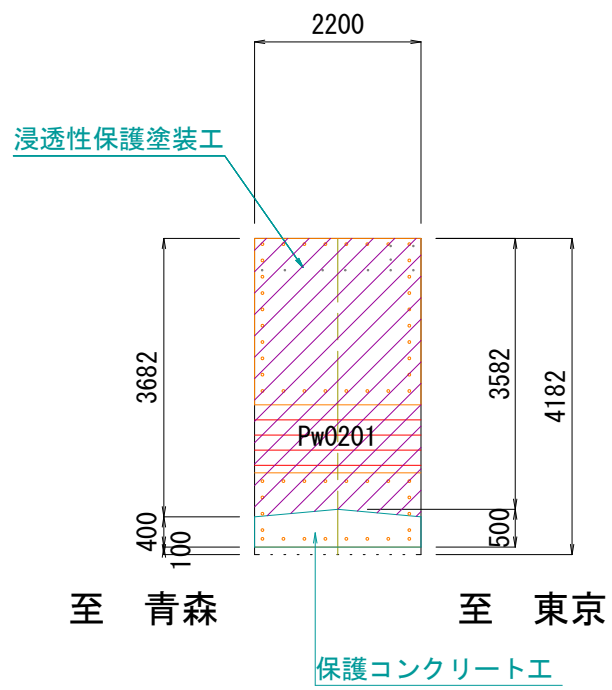
浸透性保護塗装工詳細図



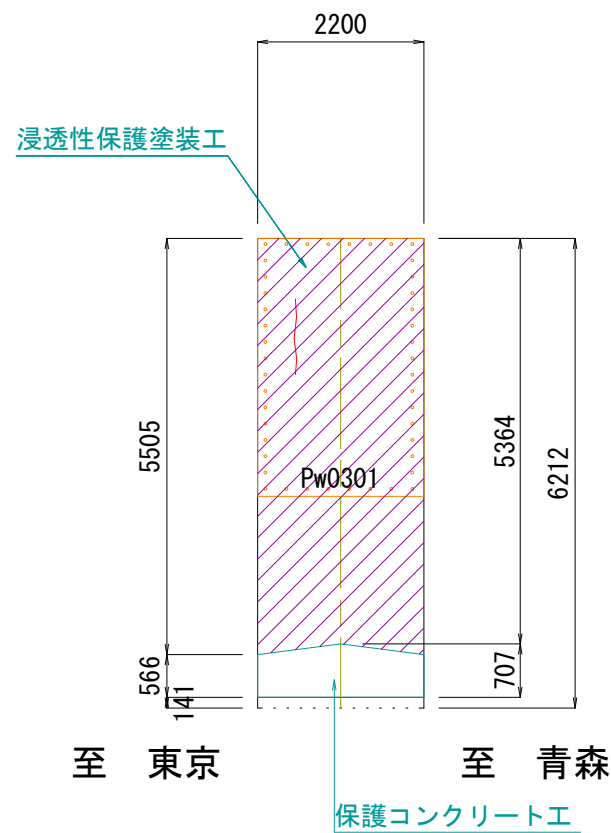
浸透性保護塗装工〔留意事項〕

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
3. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて含浸させる。
4. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。
5. 図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

1-1断面図



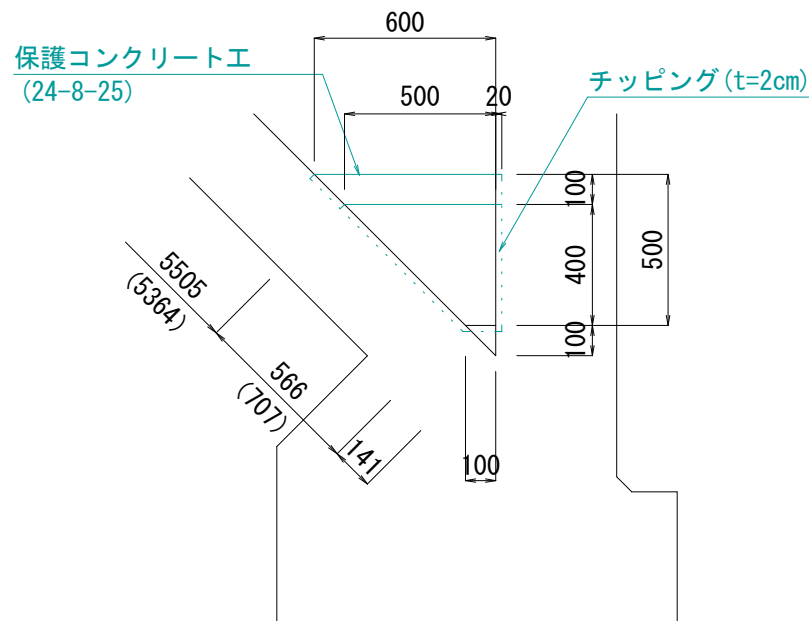
2-2断面図



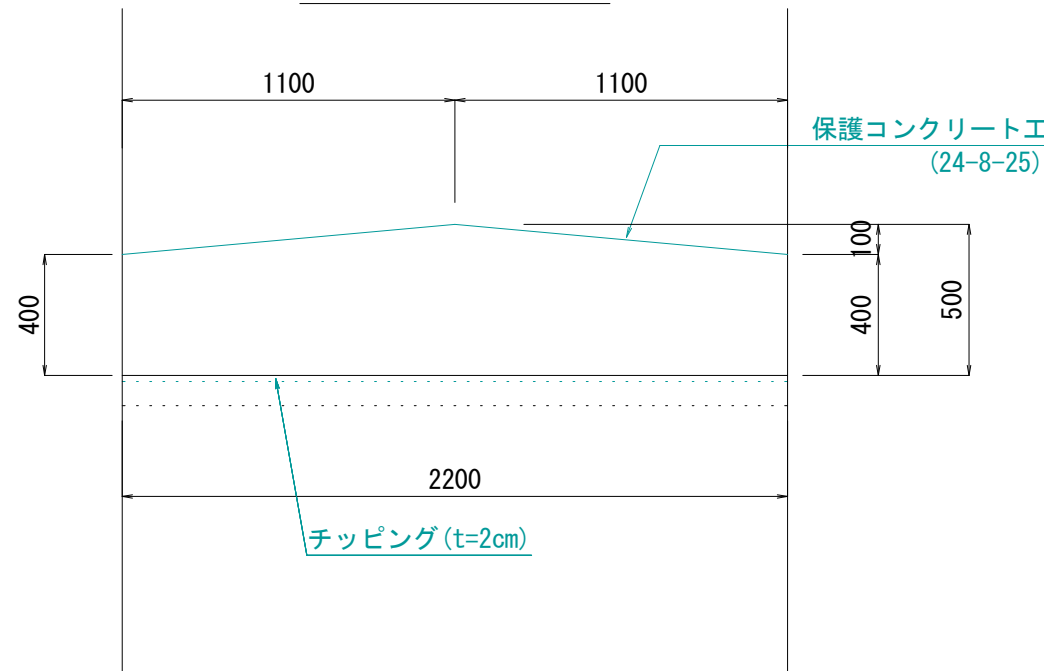
基部拡大図

S=1/25

側面図



正面図



令和3年度 橋梁補修 工事		
工事番号	平 土 第	号
路 線 名	碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線	
施 行 所	平川市 碓ヶ関古懸 地内	
古 館 橋 P2橋脚補修図	縮 尺	図 示
図面番号	業 中	
平 川 市		
青 森 県		

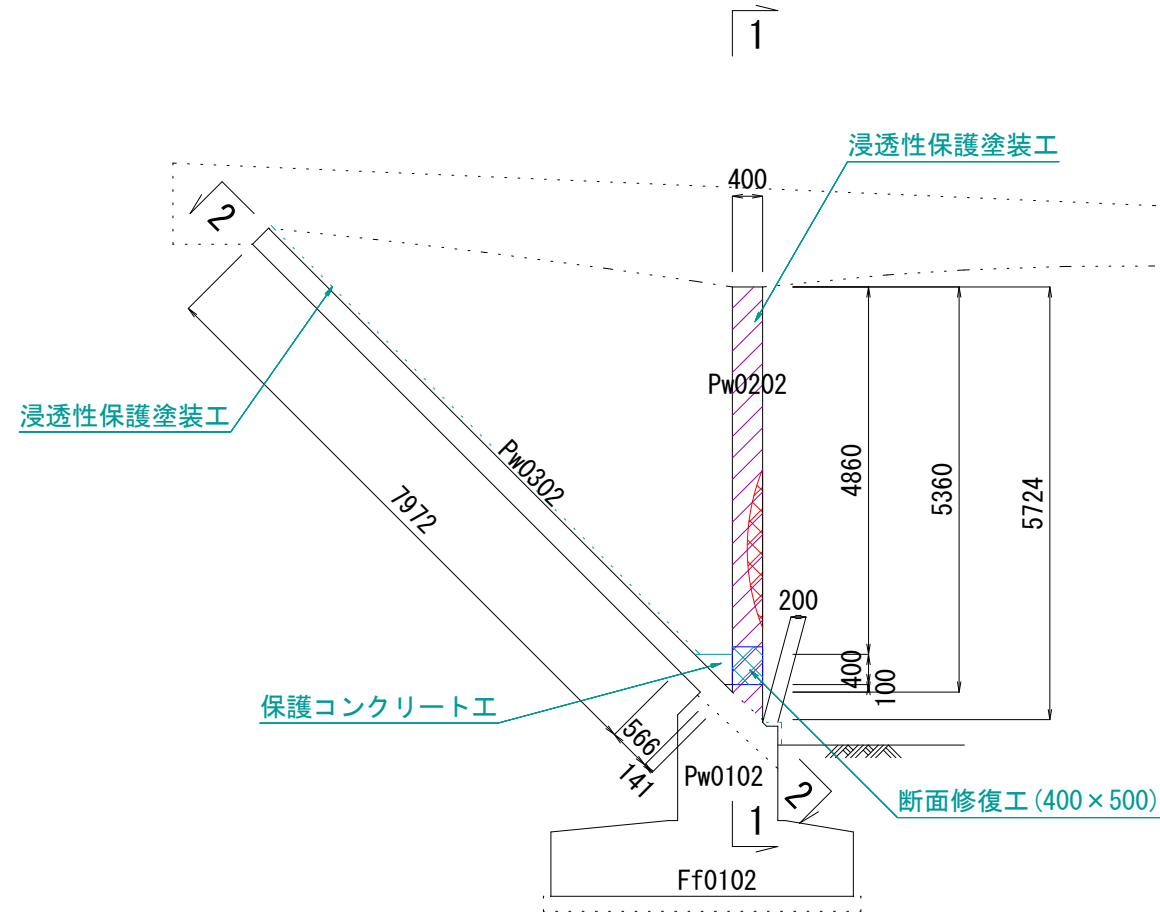
210510402_古館橋

6
8

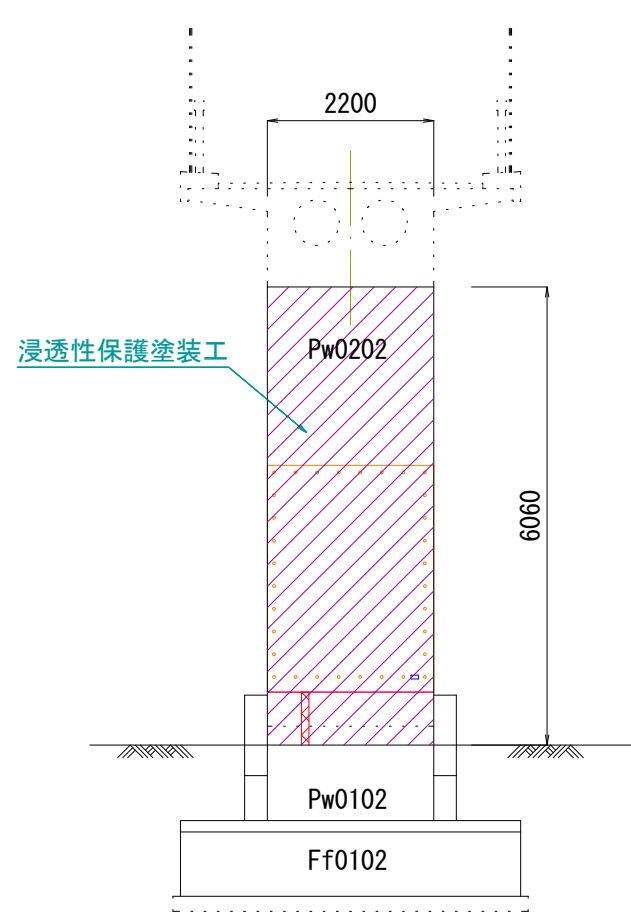
古館橋 P2橋脚補修図

S=1/100

青森側側面図

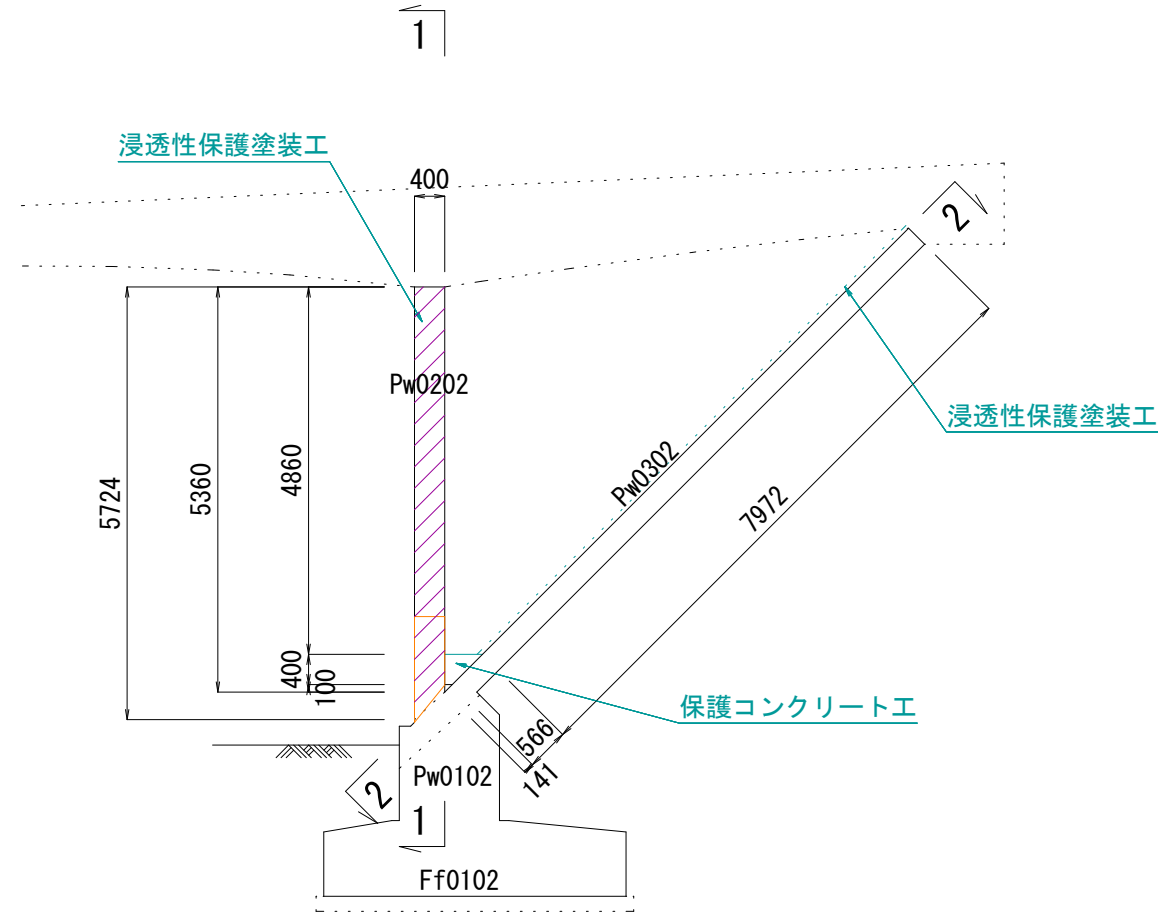


正面図

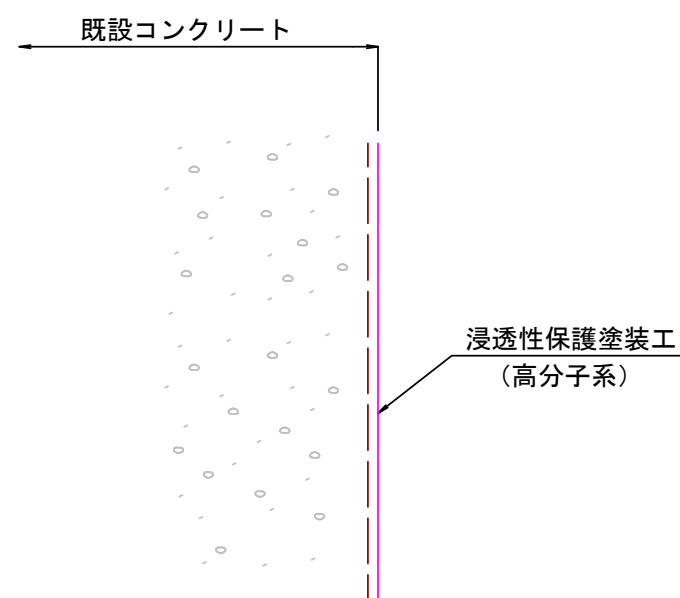


東北自動車道 上り線
至 東京

東京側側面図



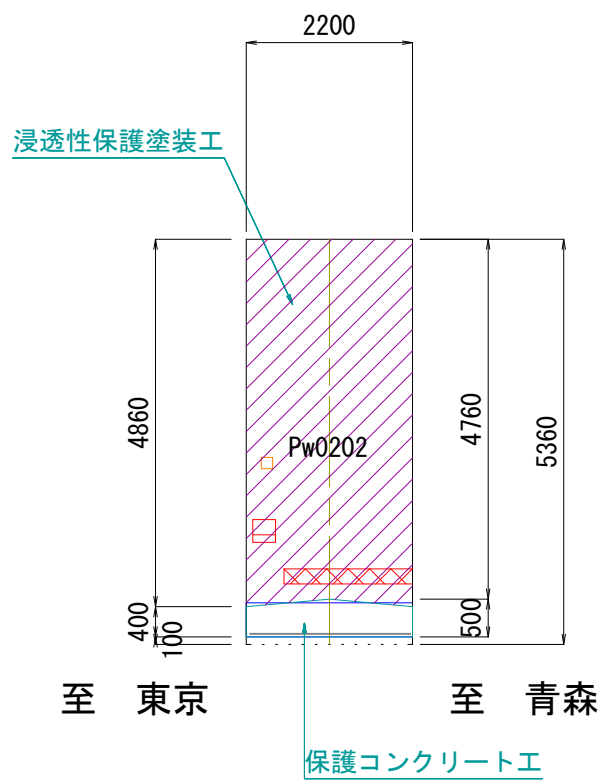
浸透性保護塗装工詳細図



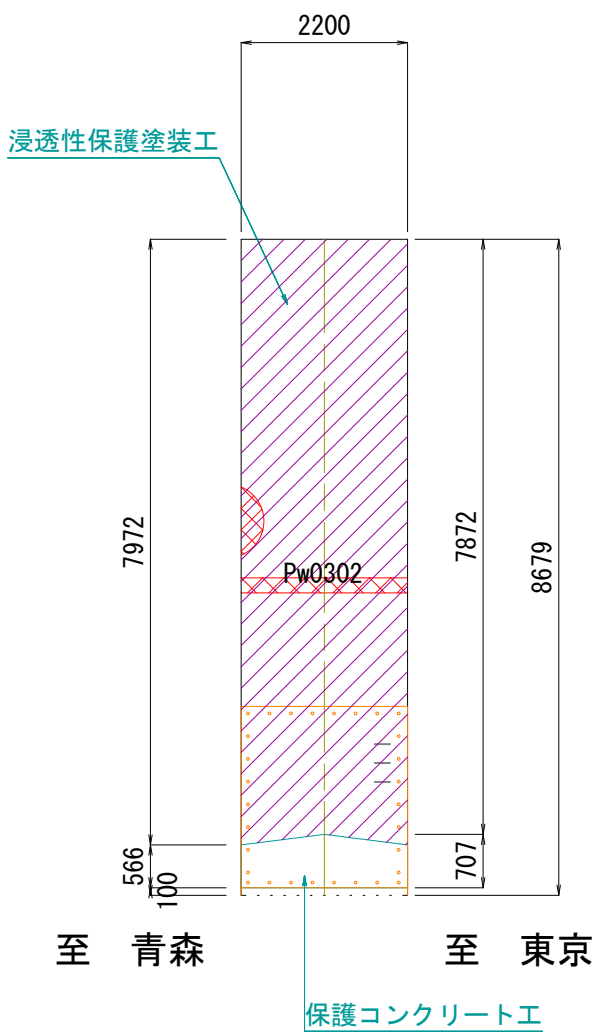
浸透性保護塗装工〔留意事項〕

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
3. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて含浸させる。
4. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。
5. 図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

1-1断面図



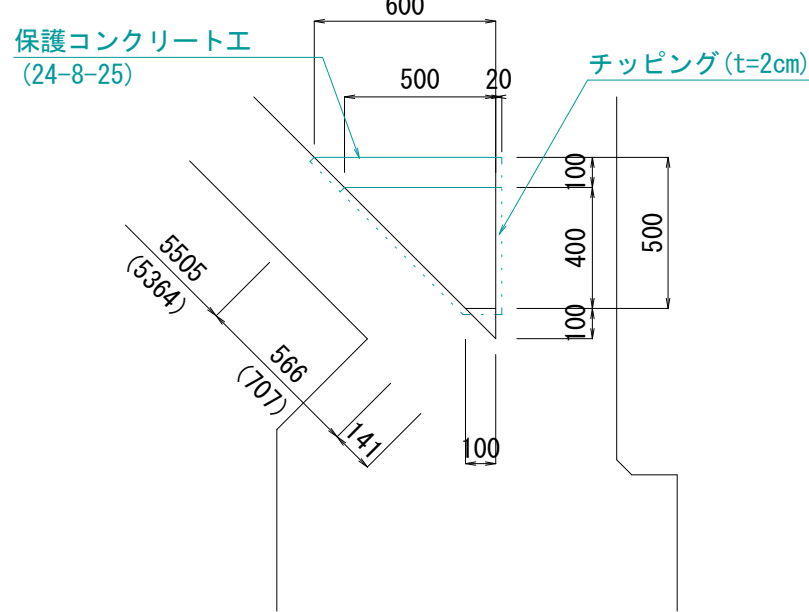
2-2断面図



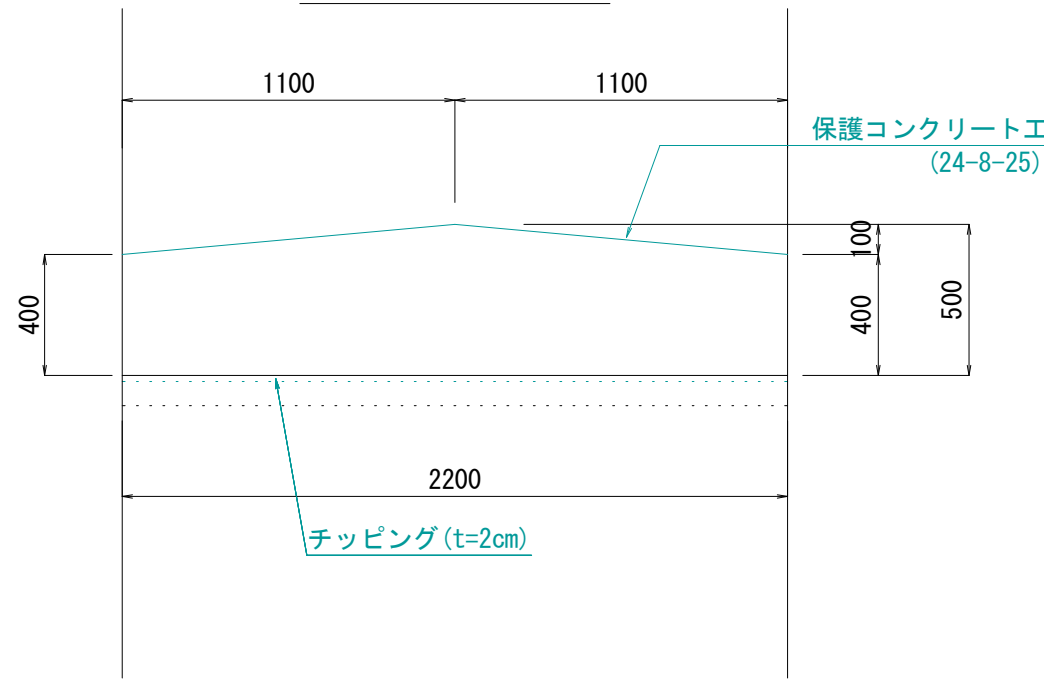
基部拡大図

S=1/25

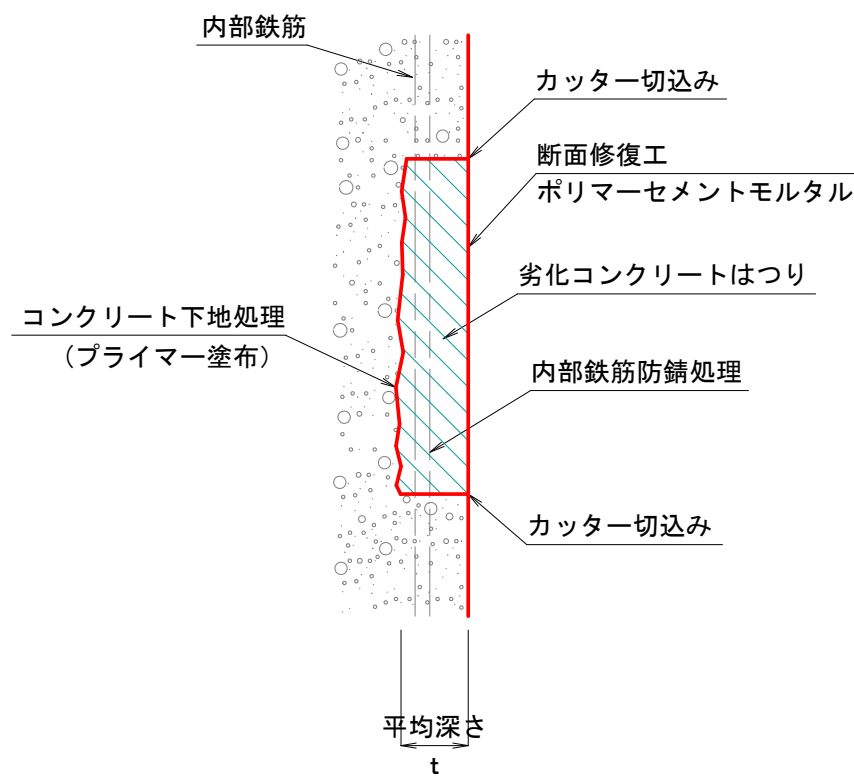
側面図



正面図



断面修復工詳細図



〔特記事項〕

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. はつり処理にあたり既設面との境界部がフェザーエッジにならないようディスクカッターで10～20mm程度の切込みを入れる。
3. 脆弱部を撤去後、露出した鉄筋は錆を除去し、防錆措置を行うこと。
4. 表記以外の損傷箇所が確認された場合は、補修範囲について協議を行う。

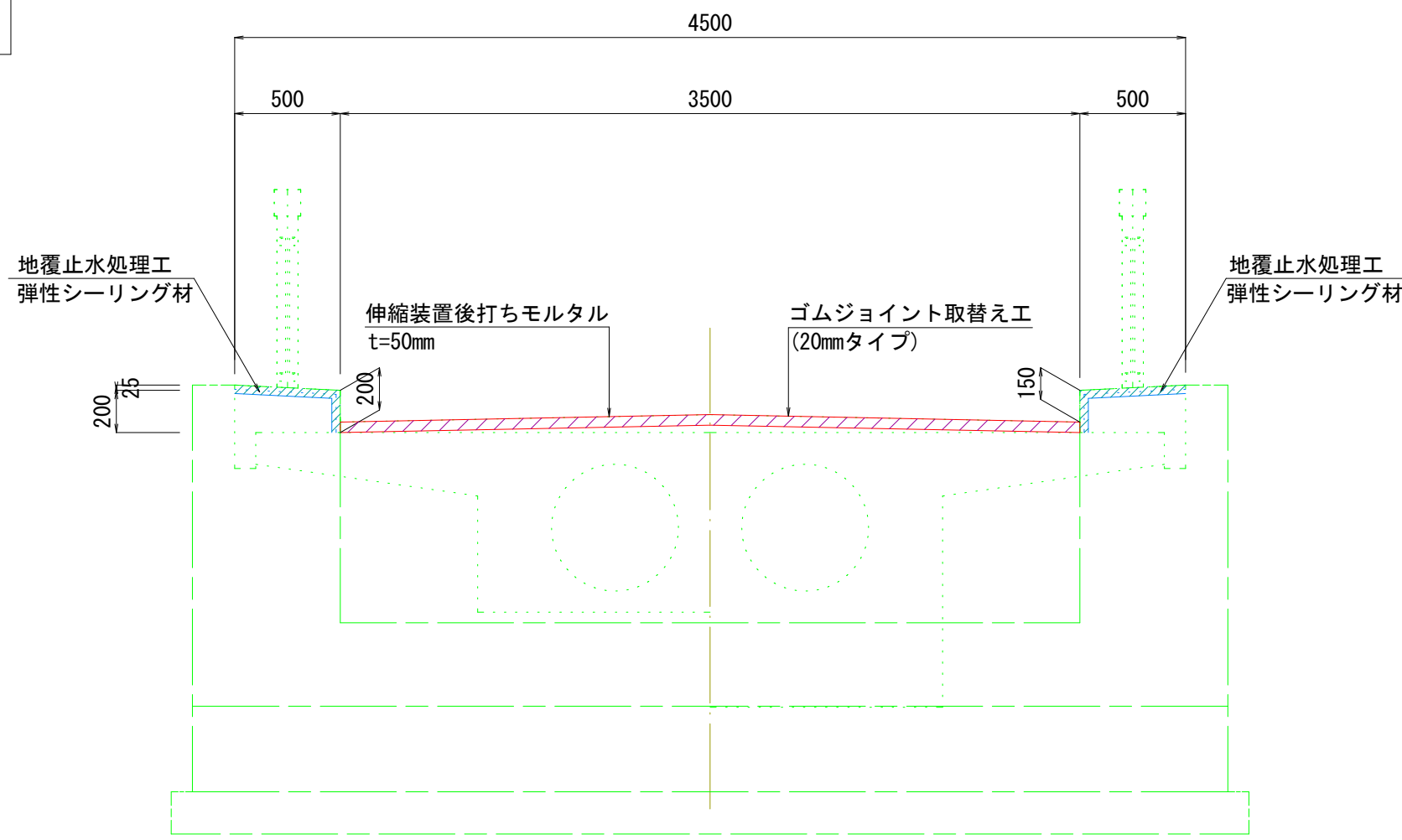
令和3年度		橋梁補修		工事	
工事番号		平 土 第		号	
路線 綿 河 川		碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線			
施設 行 所 箇		平川市 碓ヶ関古懸 地内			
古 館 橋 伸縮装置補修詳細図			縮尺 図 示		
図面番号		業 中			
平		川		市	
青		森		県	

210510402_古館橋

7
8

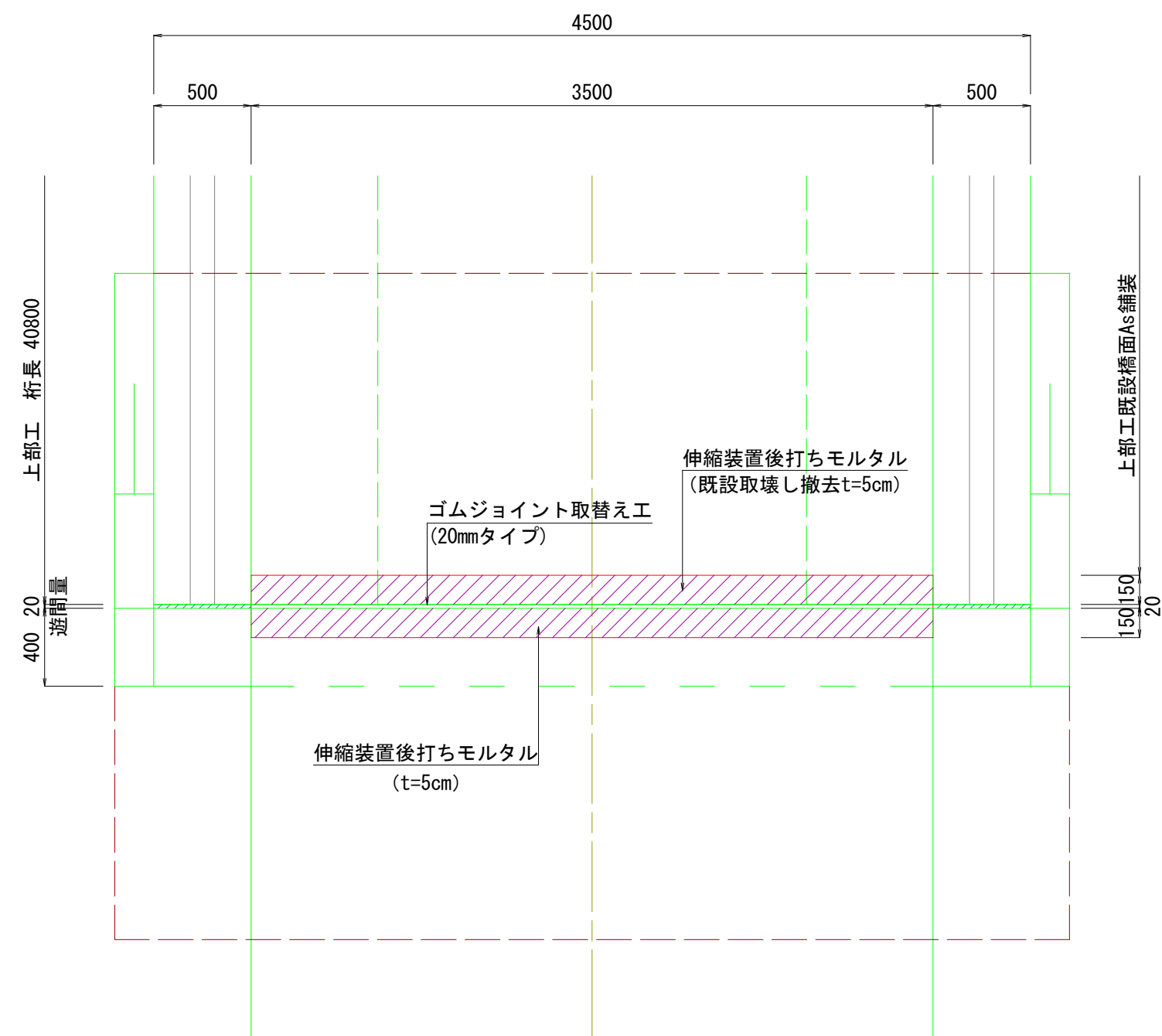
正面図

S=1/30



平面図

S=1/30

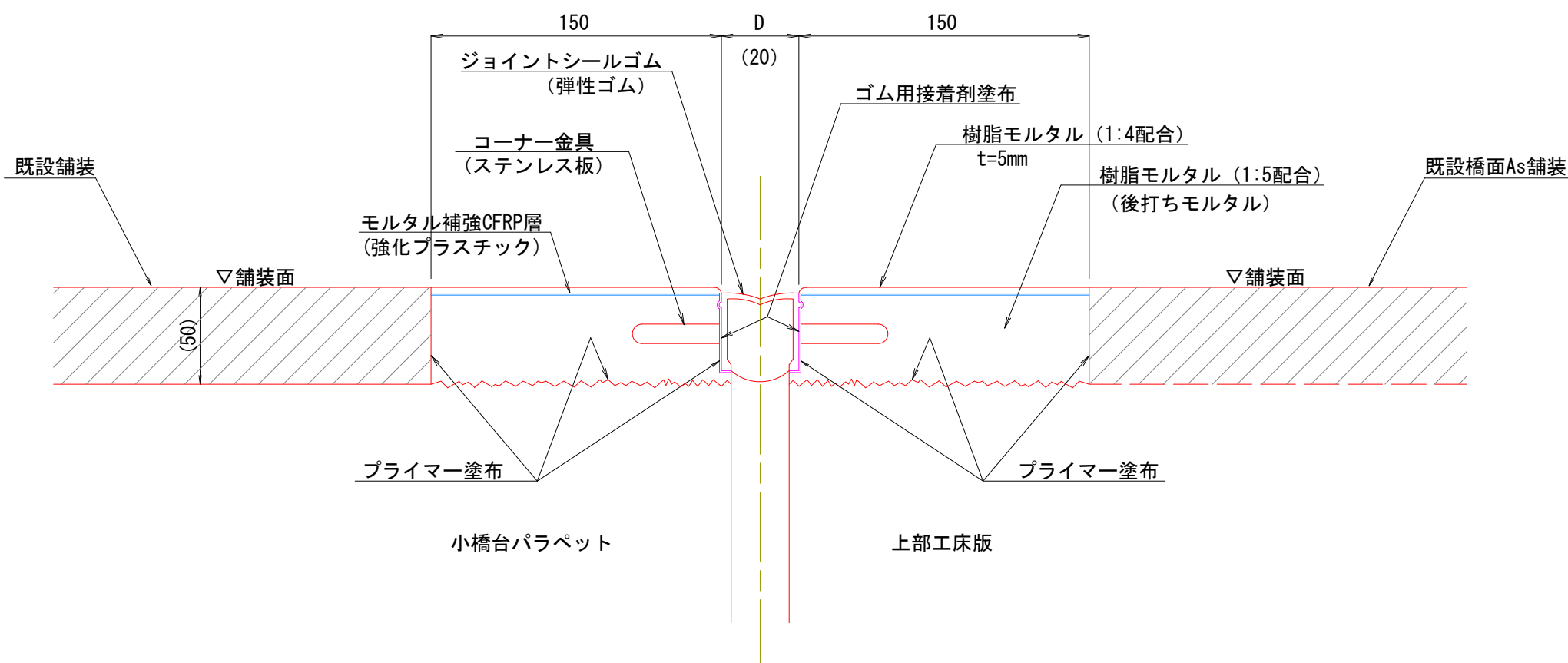


※上部工側及び小橋台は既設伸縮モルタルを切り取り箱抜きを行う。
既存の状況によっては事前に舗装カッターを行う。

古館橋 伸縮装置補修詳細図

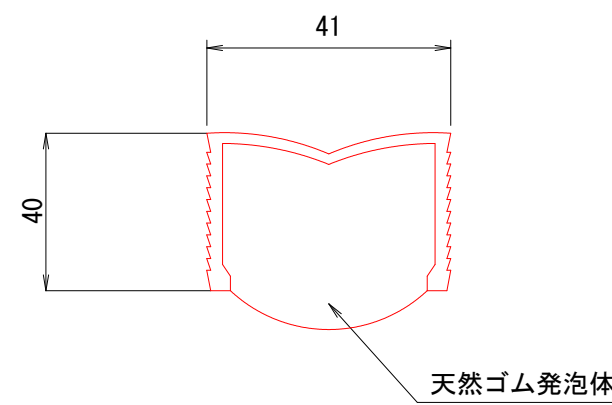
伸縮装置断面図

S=1/3



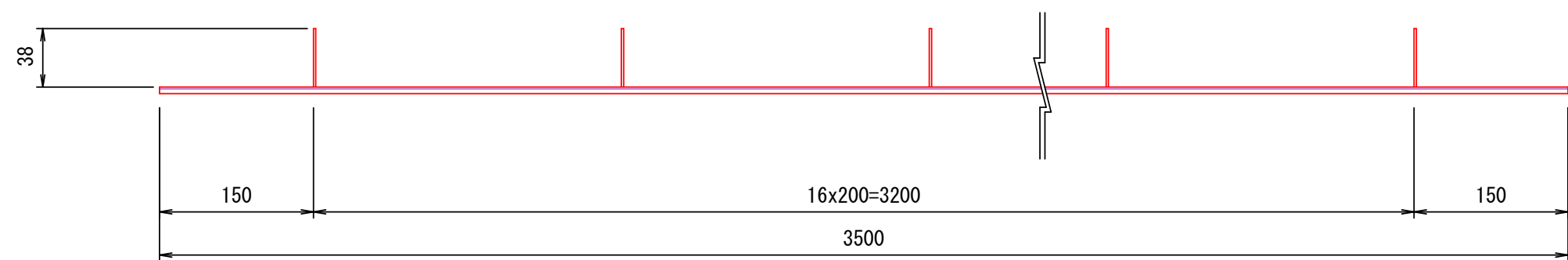
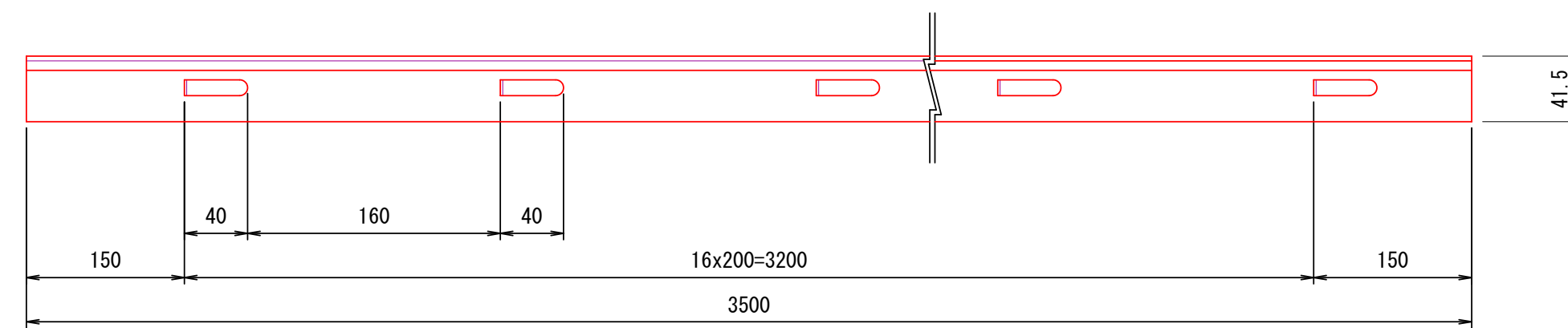
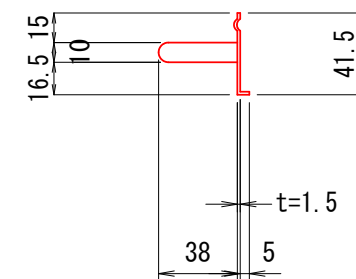
ジョイントシールゴム断面図

(伸縮量20mm)

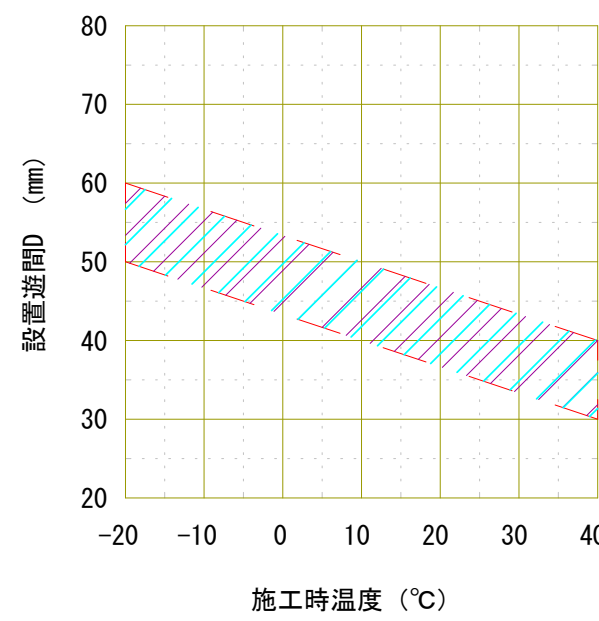


コーナー金具詳細図

S=1/4

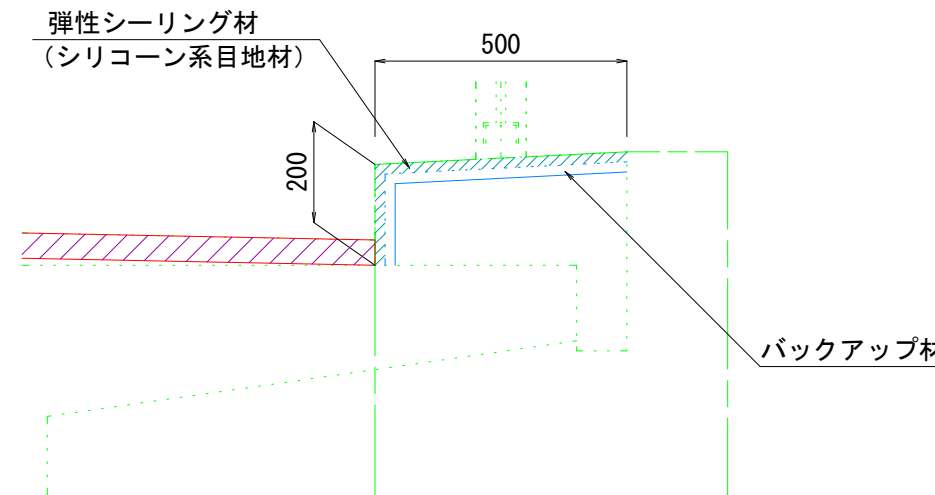
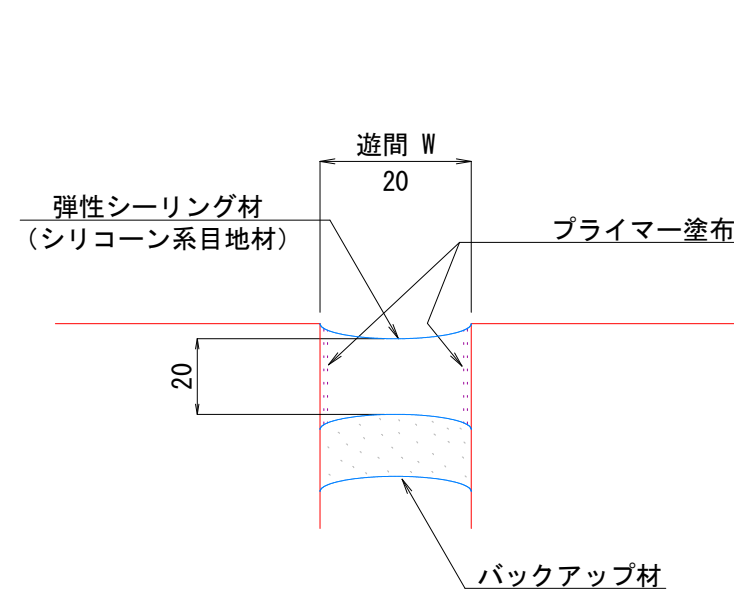


設置遊間表



伸縮量 : ΔL
 $\Delta L = 0.5 \times L + (\text{余裕量})$
 $= 0.5 \times 20.4 + (10)$
 $= 10.2\text{mm} + (10)$
L : 上部構造 40.800m/2

地覆止水処理工詳細図



※図中詳細寸法は現地再測の上決定のこと。

令和3年度 橋梁補修 工事		
工事番号	平 土 第	号
路 線 名	碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線	
施 行 所	平川市 碓ヶ関古懸 地内	
古 館 橋 仮設足場工図(参考図)	縮尺	図 示
図面番号	業 中	
平 川 市		
青 森 県		

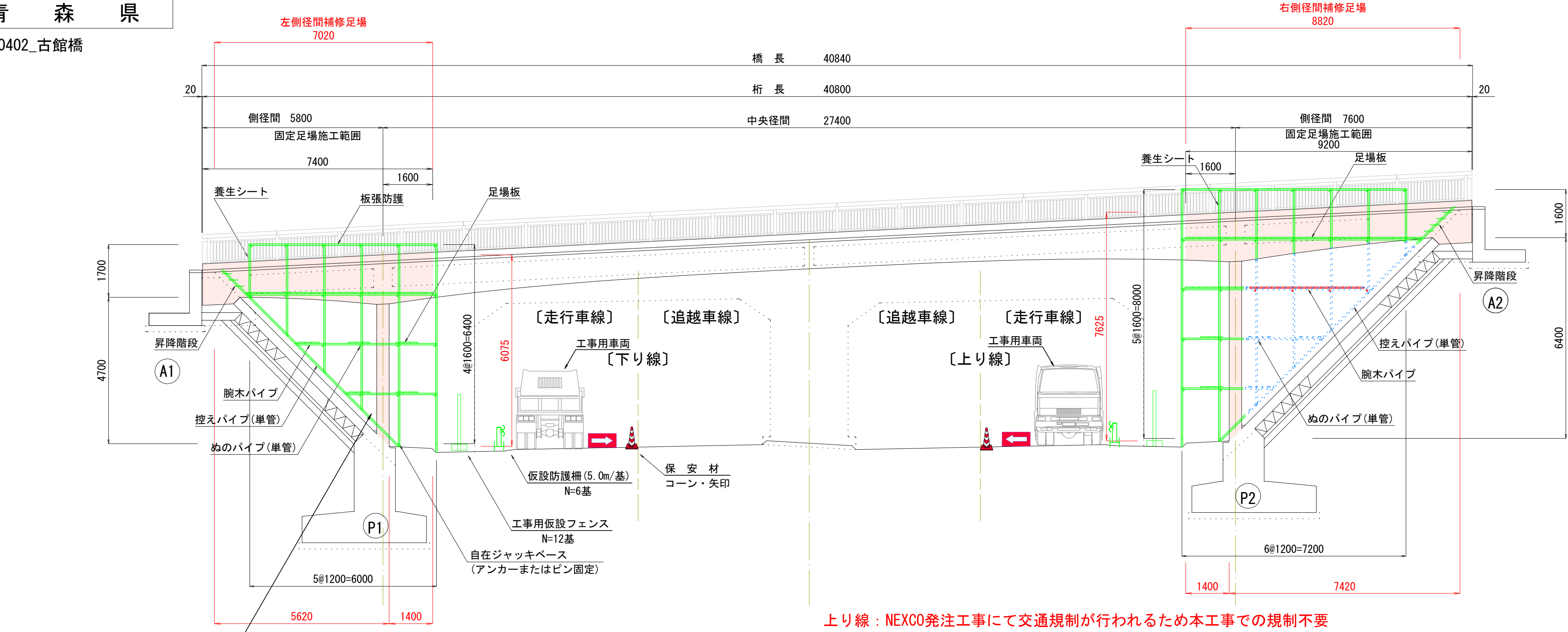
210510402_古館橋

8
8

古館橋 仮設足場工図(参考図)

S=1/100

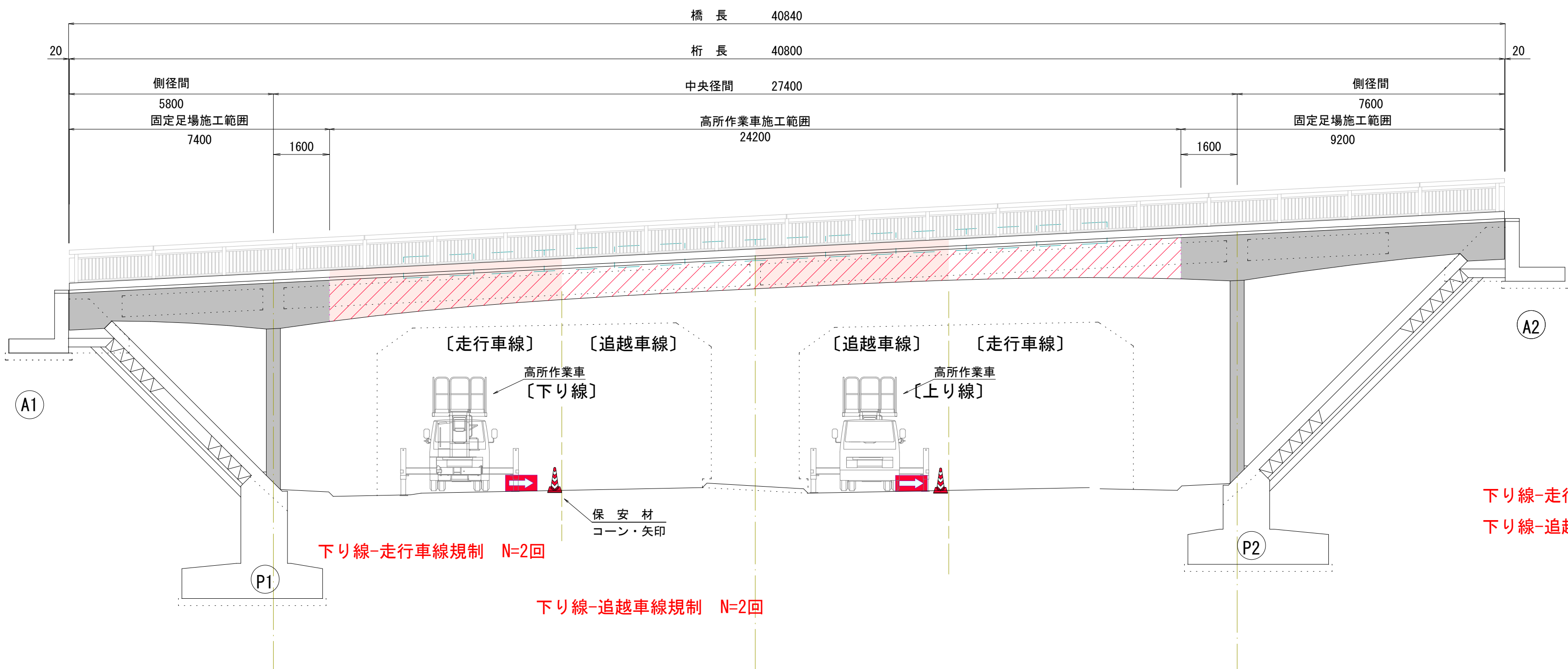
【側径間・垂直材・斜材補修時】



単管足場・板張防護設置 N=3日
単管足場・板張防護撤去 N=3日
下り線-走行車線規制 N=6回

上り線：NEXCO発注工事にて交通規制が行われるため本工事での規制不要

【中央径間補修時】

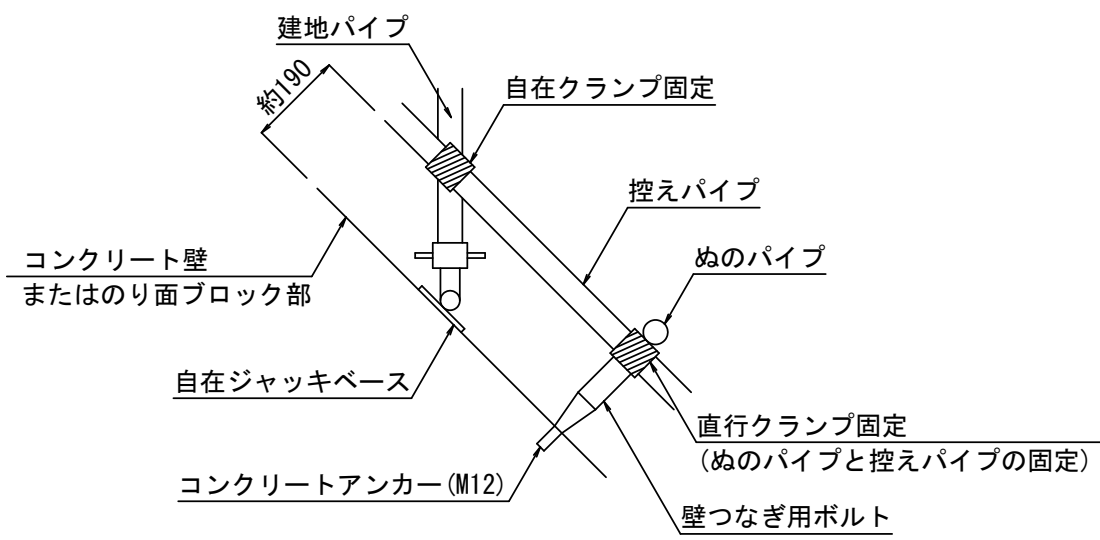


下り線-走行車線規制 N=2回

下り線-追越車線規制 N=2回

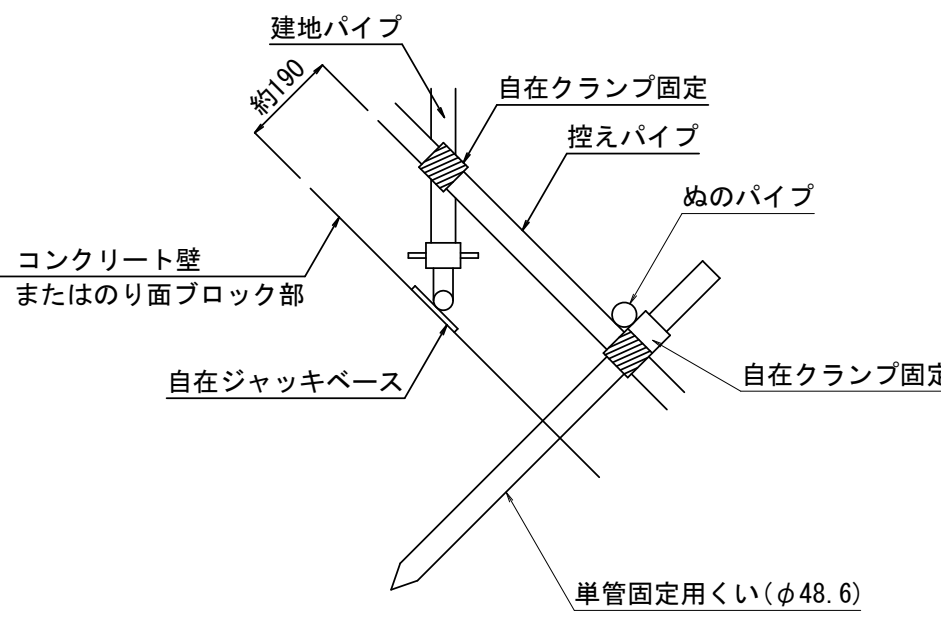
斜面壁つなぎ固定詳細図

(コンクリート壁部) S=1/15



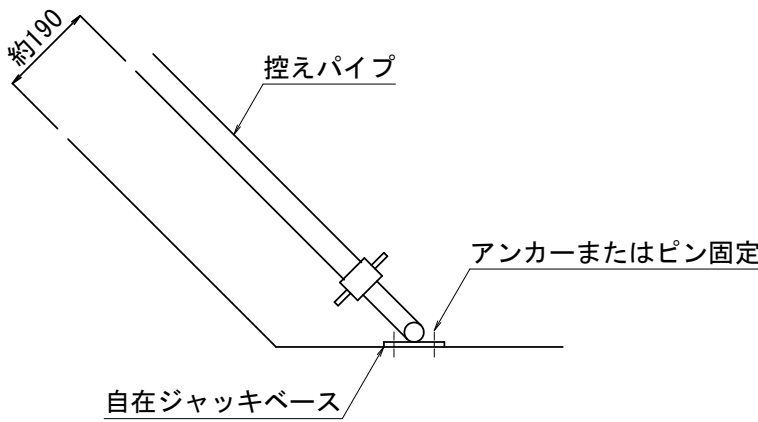
斜面壁つなぎ固定詳細図

(土部分) S=1/15



控えパイプ基部固定詳細図

S=1/15



下り線-走行車線規制 N=8回

下り線-追越車線規制 N=2回

合計 ΣN=10回